

春の公民館講座・芦屋川カレッジ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

【春の公民館講座】 歴史を探る一近現代史の謎に迫る

■日時 4月8日～9月30日 金曜日・全6回 午前10時～11時30分 ■会場 市民センター 401室 ■内容 「秋山真之はアメリカで何を学んだか」「夏目漱石『こころ』の先生は何故自殺したか」「戦後最大の闇」下山国鉄総裁、なその死」ほか ■講師 城郭・歴史研究者・菅原美文氏 ■定員 80人 ■受講料 2,500円

【春の公民館講座】 世界はニュースだけではわからない(時事経済講座)

■日時 4月9日～9月17日 土曜日・全6回 午後2時～3時30分 ■会場 市民センター 401室 ■内容 「日本の金融経済の行方」ほか ■講師 神戸大学大学院教授・滝川好夫氏 ■定員 100人 ■受講料 2,500円

【春の公民館講座】 田辺真人先生の「文化の歴史」講座

■日時 4月13日～9月14日 水曜日・全6回 午前10時45分～午後0時15分 ■会場 市民センター 301室 ■内容 「『江姫』の時代と阪神地域・『平城遷都のころに記された阪神地域』ほか ■講師 園田学園女子大学名誉教授・田辺真人氏 ■定員 60人 ■受講料 2,500円

《申し込み》講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、はがきかファクスで4月2日(土)までに公民館へ。応募者多数のときは抽選(市内在住優先)

芦屋川カレッジ(高齢者大学)第28期生募集

■期間 4月20日～3月14日(水)/必修・全36回 午前10時～11時30分/選択・全15回 午後1時15分～2時45分 ■会場 市民センター 401室ほか ■内容 必修 時事問題・法律・音楽・科学・文芸等/選択 うるおいコース...日本の歴史再考 ゆったりコース...関西の文化・魅力再発見 ■対象 市内在住の満60歳以上のかた・110人(各55人) ■受講料 年額21,000円(教材費含む・交通費等別) ■申し込み はがきまたはファクスに、希望コース・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・年齢・生年月日・性別を記入し、3月31日(木)×消印有効>までに上記「芦屋川カレッジ」係へ

芦屋川カレッジ聴講生(カレッジ修了者)募集

■期間 4月20日～2月15日(水)全9回 午後1時15分～2時45分 ■会場 市民センター 401室ほか ■内容 選択 うるおいコース...日本の歴史再考 ゆったりコース...関西の文化・魅力再発見 ■対象 カレッジを修了されたかた・100人(各50人) ■受講料 年額3,700円(教材費含む・交通費等別) ■申し込み はがきまたはファクスに、希望コース・住所・氏名・電話番号・カレッジ修了期を記入し、3月31日(木)×消印有効>までに上記「芦屋川カレッジ聴講生」係へ

芦屋川カレッジ大学院生(カレッジ修了者)募集

■期間 4月18日～3月19日(月)全12回 午前10時～11時30分 ■会場 市民センター 401室ほか ■年間テーマ 伝統芸能をひも解く ■対象 カレッジを修了されたかた・100人 ■受講料 年額5,500円(教材費含む・交通費等別) ■申し込み はがきまたはファクスに、住所・氏名・電話番号・カレッジ修了期を記入し、3月31日(木)×消印有効>までに上記「芦屋川カレッジ大学院」係へ

*いずれも、応募者多数の場合は抽選となります。

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244

【文学館講座】 作家・柳谷郁子が語る ～名作の愉(たの)しみ～

■日時 3月24日(木)午前10時30分～正午 ■会場 講義室 ■内容 ドストエフスキー「罪と罰」 ■定員 16人 ■受講料 2,300円 ■申し込み 上記へ

【文学館講座】 季語から始める俳句レッスン 体験講座

■日時 4月9日(土)午後2時～4時 ■会場 講義室 ■講師 俳句協会会員・倉橋みどり氏 ■定員 初心者16人 ■受講料 1,000円 ■申し込み 上記へ

【文学館講座】 赤筆診療たん“ことばのよもやまばなし”体験講座

■日時 4月13日(水)午後2時～3時30分 ■講師 元読売新聞大阪本社校閲部長・篠原嘉彦氏 ■定員 初心者16人 ■受講料 1,000円 ■申し込み 上記へ

芦屋夢ステージ<3月26日(土)>

「リコーダー!リコーダー!!リコーダー!!!」

■開演 午後1時～午後2時 ■会場 ルナ・ホール<全席自由> ■内容 笛で遊ぼう! 本公演 ■料金 一般1,200円 のみ1,000円・小学生以下700円のみ500円 ■チケット 天野(☎34-2540)・小杉(☎38-1879)*3歳以下のかたの入場はご遠慮ください。

「乗り合いばなし」No.6

■開演 午後6時～ ■会場 ルナ・ホール<全席自由> ■内容 皆知ってる日本のおとぎ話 皆の住んでる芦屋の昔ばなし ■料金 中学生以上1,000円 ■出演・チケット アクトアカデミー芦屋A.A.A(☎23-3106)

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

「芦屋市配偶者等からの暴力対策基本計画」(案)

問い合わせ 男女共同参画推進担当 ☎38-2023/☎38-2175

「市」の意見 潮見小学校南側に保育園を作るのですか。あの北側には緑保衛所があり、子どもの送迎時に車を路上に置く人がいます。潮見小学校に保育園を作るのについて、そのことを十分考えて決定されたのですか。公立小学校の学習室に民間保育所を開設するの保育所を誘致するのはなぜですか。交通面でも不安。独立した二百人規模での保育所設立が望ましいのではないのですか。潮見小学校PTAや教育委員会・こども課等で相談し、いい方向で、保育所が設立されるようにお願いします。

配偶者等からの暴力(DV)の防止に向けて 《ドメスティックバイオレンスの実態とは…》

実際のDVとはどのようなものであるか、また配偶者等からの暴力のない社会の実現を目指し市やそれぞれの個人はどのように取り組んでいくべきか、今回は専門家にDVの実態についてお話をうかがいました。

「帰りが少しでも遅くなると、彼は玄関で仁王立ちになり、2時間怒鳴り続けるのです。子どもが泣く中、何度謝ってもお構いなしでした。何をしても女として妻として失格で、いかに値打ちのない人間であるかと(罵)るのはことは日常生活でした。」

彼女は、夫の優しいところを知っているだけに、夫をいらだたせる自分が悪く、夫の機嫌を損ねないために自分が我慢すべきだと考えていました。この女性が別居に踏み切ったきっかけは、2歳の子どもの食べ残したおかずを夫が子どもの口に無理やり押し込み、子どもが殺されるかとも思ったことでした。彼女は「夫のことで悩んでいませんか」というポスターを見て、相談してよいこと、自分が悪いわけではないこと、夫と妻は平等であることを知るきっかけがつかみました。その後、別居先を探しだし執拗に復縁を迫られるなどがありました。調停を経て離婚が成立し、第2の人生のスタートを切りました。

しかし、彼女の失ったものの1つは仕事です。追跡から逃れるため身を隠さざるを得ず出勤できなくなりました。その結果収入も失いました。友人も失いました。彼女が友人に連絡すると、夫はその友人に嫌がらせをするため、彼女から友人への連絡を避けることで自ら友人を遠ざける結果となりました。夫からの数年にわたる暴力による影響としてうつ病を発症し、健康も損ないました。子どもは髪の毛を引きぬく自傷行為をし、時に夜驚症がみられ、彼女自身も眠れない日々が続いたといえます。

彼女が受けてきたのはドメスティック・バイオレンス(DV)です。DVとは親密な関係にある人(配偶者や恋人)がもつ力(パワー)によって相手を支配することをいいます。それには、殴るなどの暴力だけでなく、この女性のように心理的な暴力もあります。DV被害者は自分がDVを受けていることに気づきにくいため、まずは周りからの啓発が必要です。また、次の世代にDVを残さないために、中高生の時期からDV防止教育が始まるようしています。でも、まずは大人たちが男女平等である後ろ姿を示すことから始めたいものです。

美術博物館の催し

【蒼山日菜レース切り絵展】4月2日～5月8日(月曜日休館)

■会場 第1展示室 ■観覧料 一般300円・大高生200円・中学生以下無料

【みんなで歌いましょう】3月18日(金)午後1時30分～3時

■会場 講義室 ■定員 先着50人 ■参加費 500円(歌集代1,000円別)

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

芦屋夢ステージ<3月26日(土)>
「リコーダー!リコーダー!!リコーダー!!!」
■開演 午後1時～午後2時 ■会場 ルナ・ホール<全席自由>
■内容 笛で遊ぼう! 本公演
■料金 一般1,200円 のみ1,000円・小学生以下700円のみ500円
■チケット 天野(☎34-2540)・小杉(☎38-1879)*3歳以下のかたの入場はご遠慮ください。
「乗り合いばなし」No.6
■開演 午後6時～ ■会場 ルナ・ホール<全席自由>
■内容 皆知ってる日本のおとぎ話 皆の住んでる芦屋の昔ばなし
■料金 中学生以上1,000円 ■出演・チケット アクトアカデミー芦屋A.A.A(☎23-3106)
問い合わせ 市民センター ☎31-4995

公民館・NHK公開セミナー 《要整理券》
法然上人800回忌「法然一生涯と美術」
■日時 4月7日(木) 午後2時～3時30分
■会場 ルナ・ホール
■講演 「法然上人の生涯と美術」京都国立博物館 学芸員 若杉準治氏
特別展「大英博物館 古代ギリシャ展」
■日時 4月17日(日) 午前10時30分～正午 ■会場 ルナ・ホール
■講演 「人間の神々、神々のような人間」国立西洋美術館館長・青柳正規氏
■特別展 3月12日～6月12日 神戸市立博物館
■申し込み 4月2日(土)までに公民館へ
【申し込み方法】 往復はがきに、「セミナー名・住所・氏名・電話番号・参加人数(2人まで)を記入し、それぞれの締め切り日までに下記へ。応募多数の場合は抽選し、後日、入場整理券をお送りします。」
問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

【市の考え方】 潮見小学校南側に保育園を作るのですか。あの北側には緑保衛所があり、子どもの送迎時に車を路上に置く人がいます。潮見小学校に保育園を作るのについて、そのことを十分考えて決定されたのですか。公立小学校の学習室に民間保育所を開設するの保育所を誘致するのはなぜですか。交通面でも不安。独立した二百人規模での保育所設立が望ましいのではないのですか。潮見小学校PTAや教育委員会・こども課等で相談し、いい方向で、保育所が設立されるようにお願いします。

保育所、待機児童対策について

【市の考え方】 潮見小学校の中の保育所ですが、これは教育委員会管理部門と保健福祉部に保育所と幼稚園の在り方検討委員会外部委員さんにお入りいただき検討協議をしていただきました。その結果が今年の七月に出ています。その報告書の中に、幼稚園は人数がだんだん減ってきている一方で、保育所は待機児童が出てきています。現時点では二百人を超えるという状況です。

芦屋病院、医療問題について

【市の考え方】 家族が高齢で芦屋の南にある病院に行っていたのですが、薬がたくさん処方されて、その副作用で体調が悪くなったようです。安全安心なまちというなら本当に病気を治してくれるような病院を作るべきではないかと思えます。化学薬剤は人間の体にとって毒だと思つし自然医学を使った医療を芦屋病院でも取り込んでほしい。芦屋病院では患者が増えたとはいえませんが、患者が増えた方がよいのではないですか?むしろ病人を減らす取り組みが必要なのではないでしょうか?

【市の考え方】 おつしゃるとおり

最終的には人間の自然治癒力を高め、患者さんのそういう力を引き出す手伝いをするように、病院は基本的には存在しているのだと思えます。高度な医療研究をするというのが各自治体では難しいですが、当院の先生がたは、積極的に研究会へも参加されています。現在芦屋病院は、九万五千人という本市の市域に合った規模での適切な水準の医療提供を目標としているので、できるだけ早いうちに治療することを目指し、日々精進を重ねています。薬の副作用でような問題も相談にきていただいて、適切なアドバイスができるような、地域に開かれた病院を目指して取り組むを進め、悩みを抱えておられるかたにも関口を広げていきたいと思つていますので、よろしくお願ひします。

平成23年度 芦屋さくらまつり 写真コンクール
「さくらまつり写真コンクール」を開催します。市内のさくらやさくらまつり会場風景の写真、次のとおり募集します。
■規格 カラー写真4寸切り(ワイド・組み写真は不可)またはデジカメプリントA4判未発表作品・1人2点まで
■応募方法 4月5日～12日に、所定の応募用紙(応募作品の裏面に貼付)に必要事項を記入し、持参郵送(〒659-8501 住所不要)で下記へ。
※最優秀賞には、賞状等を進呈。
※応募作品は返却しません。
※著作権は、観光協会に属します。
問い合わせ 芦屋観光協会事務局 ☎38-2033(経済課内)

平成22年度 まちづくり懇談会 《結果概要》

問い合わせ 市民参画課 ☎38-2007

昨年11月19日・22日に市内2会場で開催された「まちづくり懇談会」(芦屋市自治会連合会主催)の概要を報告します。懇談会には、市長・副市長・教育長をはじめ市の全部長が出席し、芦屋警察署からも出席がありました。2会場で延べ91人の参加があり、50項目(郵送分を含む)にわたるご意見・ご要望が出されました。その一部をご紹介します。



芦屋浜管理センター会場

「まちづくり懇談会」でのご意見・ご要望一覽

- 【市民センター会場】
 - 船戸町の公園設置について
 - 奥池南町の養蜂事業について
 - 山手幹線の交通渋滞について
 - 東山町の集会所設置について
 - 南芦屋浜地区堰堤のごみ対策について
 - 南芦屋浜地区の電柱地中化について
 - 南芦屋浜地区堰堤のバイク対策について
 - 山手幹線について
 - 芦有道路の通行料、児童・生徒の通学に関する補助について
 - 芦屋公園使用料について
 - 芦屋公園使用方法について
 - J.R芦屋駅北側道路の標識について
 - 芦屋川の除草について
 - 犬のふん対策について
 - 楠町マンション建設問題について
 - 船戸町マンション建設問題について
 - 読書のまちづくり、図書館だよりについて
 - 宮塚公園トイレ改修について
 - 市庁舎内の喫煙について
 - J.R芦屋駅南再開発事業について
 - 地域の自治会活動について
 - 浜センター(大東町)付近の駐輪対策について
 - 電柱の設置場所について

- 【芦屋浜管理センター会場】
 - 独居老人の見守り対策について
 - 高齢者向けバス運賃助成方法について
 - 防災無線放送について
 - 医療行政について
 - 独居老人等の名簿作成について
 - 潮見小学校敷地内保育所建設案について
 - 駐車違反対策について
 - 保育所待機児童対策について
 - 市職員の職員教育、コスト意識について
 - 潮芦屋地区の電柱地中化について
 - あゆみ橋南の交通標識について
 - 庭園都市について
 - 老人医療施設について
 - 野良猫対策、市民マナー条例について
 - 阪神電車の高架化について
 - 県道奥山精道線について
 - 海岸線の遮音壁について
 - 児童のマナーについて
 - 高齢者の自動車免許自主返納について
 - 美術博物館の運営について

- 【郵送分】
 - 指定管理者制度について
 - 保健福祉センターについて
 - J.R芦屋駅南再開発事業について
 - 駐車違反対策について
 - 保育所開設について
 - 市有地の活用方法について
 - 市民マナー条例について

高齢者、独居問題について

【市の考え方】 独居老人の見守りについてどのような対策がされているのか。高齢者は事故率が高いというデータが出ている。芦屋市には自動車免許の自主返納を促すための制度があるのか? また、市が子育て高齢者を実施していた年額三千万円交通費補助と阪急バスが出している高齢者向バスとを連携制にしたらどうか。

【市の考え方】 家族が高齢で芦屋の南にある病院に行っていたのですが、薬がたくさん処方されて、その副作用で体調が悪くなったようです。安全安心なまちというなら本当に病気を治してくれるような病院を作るべきではないかと思えます。化学薬剤は人間の体にとって毒だと思つし自然医学を使った医療を芦屋病院でも取り込んでほしい。芦屋病院では患者が増えたとはいえませんが、患者が増えた方がよいのではないですか?むしろ病人を減らす取り組みが必要なのではないでしょうか?

【市の考え方】 おつしゃるとおり

最終的には人間の自然治癒力を高め、患者さんのそういう力を引き出す手伝いをするように、病院は基本的には存在しているのだと思えます。高度な医療研究をするというのが各自治体では難しいですが、当院の先生がたは、積極的に研究会へも参加されています。現在芦屋病院は、九万五千人という本市の市域に合った規模での適切な水準の医療提供を目標としているので、できるだけ早いうちに治療することを目指し、日々精進を重ねています。薬の副作用でような問題も相談にきていただいて、適切なアドバイスができるような、地域に開かれた病院を目指して取り組むを進め、悩みを抱えておられるかたにも関口を広げていきたいと思つていますので、よろしくお願ひします。

第23回 芦屋さくらまつり 《4月2日(土)・3日(日)》
■時間 午前11時～午後8時
■会場 市民センター西側道路
■内容 特設舞台イベント等/ストリートパフォーマンスほか 夕方から桜ライトアップ
■緑日 商店街加盟店など、41店
まつりボランティア募集
当日の運営・警備補助、清掃等をお手伝いいただけるかたは下記へ。
*当日も、本部で受け付けています。
問い合わせ 芦屋さくらまつり協議会事務局 ☎38-2007(市民参画課内)